

視察報告書

令和 6 年 7 月 26 日

貝塚市議会議長 食野 雅由 殿

大阪維新の会 貝塚市議会議員団 長谷川 博文
中川 剛
蓮池 陽佑
中西 真知子
八野 裕嗣

日時：令和 6 年 7 月 24 日 10 時 00 分～11 時 30 分

場所：柏原市勤労者センター（K. I. ホール）

テーマ：ママスクエアについて 報告者 中川 剛

【施設概要】

子育て世代の就労支援を目的に平成 30 年 3 月開設



ワーキングスペース



キッズスペース

地方創生推進交付金の活用

『多世代交流推進及びテレワークによる母親就労拠点創出事業』

※母親の就労等支援の効果や事業の継続性等を検証するための実証事業

事業費；41,640,000 円（地域再生計画上の計画期間 3 年間の事業費）

<上記のうち、初年度の母親労働拠点創出事業費用 30,790,000 円>

- 平成 29 年 5 月 交付金事業として採択される。
- 平成 29 年 6 月 補正予算において議会の承認を受ける。
- 平成 29 年 8 月 公募型プロポーザルにより、実施事業社の選定。
- 平成 29 年 9 月 拠点の調査、施工、採用募集を順次開始。
- 平成 30 年 3 月 母親労働拠点創出事業『ママスクエア柏原店』オープン

柏原市との連携協定の締結

『子育て世代が活躍できる環境づくりの推進に関する連携協定』平成 30 年 7 月 26 日締結

目的 子育て世代の雇用・就労の促進と定住化を図ること

連携事項

- ・子育て世代の就労に関するデータ収集、分析及び活用に関すること
- ・子育て世代の多様な働き方の支援に関すること
- ・子育て世代のキャリアアップ支援に関すること
- ・柏原市の地域活性化を図る取組に関すること
- ・その他、柏原市の就労、子育て支援に関すること

【ママスクエア】

ママスクエアとは、「子どものそばで働ける世の中に」という企業理念のもと、ママが子どものそばで働ける、保育園でもない、在宅でもない、新しいワーキングスタイルを提案され、ワーキングスペース＋キッズスペースから成り立つオフィスで仕事をしながら子どもの様子がわかる画期的な職場として注目されています。

ワーキングスペースからガラス越しに見える位置にキッズスペースを併設し、キッズスペースには子どもが楽しく過ごせるよう、またママが安心して働けるように専門のスタッフが常駐しています。この専門のスタッフは、保育士の資格を持っている方、子育て経験が豊富な方など、子どもが楽しく過ごせるようにサポートをしています。また、ママの就業スタイルは、シフト性で自由なスタイルで働くことができ、多様な働き方を選択することができ、本格復帰の慣らし運転に活用している方もおられ、業務内容の中心は、コール業務や事務代行業務となっています。

現在、ママスクエアは、55店舗各地に展開しており、柏原市の場合は、全国で初の公共施設を利用となっています。

柏原市の場合、公共施設を利用するものとして、施設整備に、地方創生交付金を活用することができ、平成 29 年に交付金事業の「多世代交流推進及びテレワークによる母親労働拠点創出事業」として採択され、交付金による地域再生計画上の計画期間 3 年での事業費は 41,640,000 円で、（この内施設整備などに 30,790,000 円）平成 30 年 3 月にオープンしています。

スタッフ数は、2024 年 7 月現在 28 名（うちキッズスタッフ 6 名）、新たな雇用の創出が実現したとのことです。また、公有財産の活用として、市立勤労者センターのスペースを貸し付け、柏原市は施設使用料を収受しており、公有財産の空きスペースの活用が実現しているとのことです。

